

【講義の概要】

華嚴の思想といえば、浄土真宗とは縁遠いように思われがちである。しかし、『大無量寿経』上巻の最後に説かれている「華光出仏」の一段は、華嚴の説く「一即一切、一切即一」という事事無礙の縁起の相を説いたものである。そして、親鸞聖人も『浄土和讃』『讃阿弥陀仏偈和讃』に、

一一のはなのなかよりは
三十六百千億の
光明てらしてほがらかに
いたらぬところはさらになし

等、三首の和讃をもって、「華光出仏」の一段を讃嘆されていることは、阿弥陀仏の浄土の徳を窺う上で、注目しておかねばならない。

この講義では、竹村牧男著『華嚴とは何か』（春秋社）をテキストとし、その中から、重要な箇所を読み進めながら、一年間かけて華嚴思想の概要を学ぶ。そのまゝとめとして、『大無量寿経』上巻の「華光出仏」の一段、ならびに親鸞聖人の「讃阿弥陀仏偈和讃」三首の意を味わいたい。

【テキスト】

竹村牧男著『華嚴とは何か』（春秋社）

【参考図書】

竹村牧男著『『華嚴五教章』を読む』（春秋社）

華嚴の思想を詳しく学ぶには、華嚴思想を体系的に詳述した華嚴宗の根本的な綱要書『華嚴五教章』を読むことが欠かせない。上記の書はその解説書である。

鎌田茂雄著『華嚴五教章』（大蔵出版株式会社）

『大乘仏典』中国・日本篇7 華嚴五教章・原人論（松陰書店）

原典を読みたい人には、上記2書を勧めたい。

【自己紹介】

藤澤 信照（ふじさわ しんしょう）

1958（昭和33）年、鹿児島県川内市（現、薩摩川内市）生まれ。

鹿児島大学理学部卒業。行信仏教学院ならびに行信教校卒業後、滋賀県東近江市浄光寺に入寺。その後、龍谷大学大学院文学研究科博士後期課程修了。

現在、行信教校講師、元布教使課程専任講師、滋賀県東近江市浄光寺住職。

著書

『親によばれてー浄光寺報法話集ー』

仏教讃歌「本願力のめぐみゆえ」親鸞聖人『正信偈』意識、解説と味わい

『『教行信証』からひもとく浄土真宗の教え』（法藏館）

『本願力回向の救い～「証文類」四法結積講話～』（一味出版）

共著『大きな字で読みやすい 浄土真宗やわらか法話2』

共著2018（平成30）年真宗教団連合法語カレンダー『月々のことば』

論文 『行信学報』などに、多くの研究論文を発表

【学生さんへのメッセージ】

行信教校には昭和56年に入学し、滋賀県のお寺に入寺するまで、5年半ほど在籍し、寮生活をしていました。講師ではありますが、皆さん方の先輩でもあります。寮生活、学校生活についてのこと、勉強方法について、気軽にたずねてもらったらうれしいです。

滋賀県のお寺は公共交通機関が不便なところにあるので、毎回、車で約1時間半かけて学校に通っています。お寺のあるあたりは、大阪の町中と違って、自然がいっぱいのところ。機会があったら、ぜひ遊びに来てください。

趣味は音楽。クラシックギター演奏。地域のコーラスの指導もしています。